

漢方 小児科 婦人科 内科 産科
浮田医院
だより



第 94 号

医療法人 せゝらぎ会

発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

発行日：2012年1月5日(木)

発行者：浮田 徹也

漢方薬のよさ(94)

腰痛



たきげんけん
多紀元堅

明けましておめでとうございます。
二〇一二年の世相を「字」で表す「昨年の漢字」は「絆」でした。当院もこの「絆」を基に、今年は土台(目に見えない)部分

を強固なものにして、来年多くの芽が出るように基礎づくりをする年と思っています。院内マニュアルの改訂と実行、職員補充、各部門の技術習得、他医療機関との連携、各種業者との係わり、行政との係わり、地域との係わり、将来に向けての準備など多くの課題を二つずつ消化していく予定です。

今日は、薬剤師の方を対象に「産婦人科領域の漢方治療」の話を京都薬科大学で、また、六月は日本東洋医学総会(京都)で「妊娠年齢の高齢化による妊娠能低下に対して東洋医学的治療はどこまで有効か」のテーマのシンポジウムを担当(二時間)し、多くの医師に聴講してもらえよう予定しています。また、医学生(滋賀医科大学)の実習を受入れ、若い世代との交流にも力を注いでいきます。これら多

くの「絆」を広げていこうと考えています。

腰痛 ― のお話です。

腰痛症は「神経学的、X線像に異常所見を認めず、病因の特定が困難」で、「中高年齢でX線像に骨の変形を認めるが他の疾患を推定できる所見がない」変形性腰椎症を含めることもあります。西洋医学的には、消炎鎮痛剤、筋弛緩剤、精神安定剤などが処方さ



夫婦岩(二見ヶ浦)(伊勢)

れます。東洋医学では、外因(気象や環境(温度)(風寒湿)、内因(五臓のうち肝、腎、脾の機能異常)不安、うつ状態、高齢、不内外因(生活習慣、外傷(打撲、骨折))に分類されます。風寒湿は、腰が重たる、冷えて痛む(冷房に効き過ぎた室内で長時間労働(クーラー病等))(長期に渡って冷たいものを摂り過ぎたジュース、アイスクリーム、生野菜)、仰臥して安静にしても痛みが強い、寝返りが困難、寒冷、雨天、降雨によって症状が増悪、腰を温めると痛みが一時楽になる特徴があります。気滞(肝気鬱結)(精神的ストレスや過労などが原因で気の流れが渋滞)の場合、腰痛は遊走性で時間と共に変化しやすく、胸部の苦悶感、脇肋部の脹満感、情緒不安、憂鬱、咽喉の異物感あるいは閉塞感などを伴い、腰背部から側腹部の広範囲で、背筋を伸ばすのが辛く、長時間の起立や長時間の歩行が困難になります。瘀血(血の流れが渋滞)では、痛みは「固定性」、日中は軽く夜間は重く、夜半から朝方にかけて疼痛のために寝返りを打てず、目覚め、女性では月経障害による諸症状を伴います。気血兩虚(気と血が共に不足)(消化吸収機能が慢性的に衰える)(全身を温め生命活動を推進する腎の機能の



衰えでは、羸瘦、易疲労、自汗、悪寒、顔色不良、めまい、息切れ、皮膚の枯燥、四肢の倦怠感、筋肉の痙攣などを伴います。腎虚（加齢による老化）（慢性疾患）（房事過多）（生活の不摂生）は、四肢の冷え、寒さ、多尿、夜間頻尿、口や喉の乾燥、下腹部軟弱が特徴です。実例に移ります。

四十五歳男性、腰痛症、半年前よりギックリ腰（整形外科で診断）、空腹感少ない、便秘（三日に一回）、慎重一六八cm、体重五八kg。休憩や入浴で腰痛改善。顔色はやや青白く、腹は緊張上腹部及び下腹部腹直筋緊張、下腹部中央軟弱、臍傍に軽度抵抗圧痛。舌は淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈軽度怒脹、脈は沈、遅、細。当帰建中湯＋大黃末十修治附子末を処方。二週間で改善。一〇ヶ月服用後廃薬。

六十二歳女性、骨粗鬆症、腰痛、倦怠感、便秘（三日に一回）、夜間尿（三回）、食欲良好、皮膚搔痒。顔色良好、脈沈弦遅、舌紫淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈軽度怒脹。上下腹部の弾力性に乏しい、胸脇苦満（軽度）、胃内停水（十）、臍上下悸（十）、小腹拘急（十）、そこで、八味丸十補中益氣湯十茵陳蒿十山梔子十修治附子を処方。一ヶ月後、腰痛、便秘、皮膚搔痒改善。六ヶ月後、夜間尿減少（一〜二回）。二年後、

四年後、骨量減少（一）。現在（五年後）も継続中。

三十九歳女性、鍼治療希望。めまい、腰痛と下肢痛、下肢の冷え、食欲良好、便秘（三日に一回）。顔色良好（やや紅潮）、腹部弾力性中程度、心下痞、両側臍傍抵抗圧痛（十）、脈は細、沈、遅、舌は、紫紅色、薄乾白苔。そこで督脈百会、足少陽胆經風池、完骨、翳風に針管付き鍼施行。二〇分後円皮針に変更。五日と二〇日と二五日後、めまい軽減。腰痛と下肢痛に、足太陽膀胱經腎俞、志室、大腸俞、次髎、委中、昆侖、至陰に円皮針。二〇日後、腰痛軽減、足陽明胃經天樞、足三里、足太陰脾經三陰交、足厥陰肝經中封に針管付き鍼、二〇分後円皮針に変更。五日と二〇日と二五日後、便秘、腰痛、下肢冷え軽減。二年後症状消失。

慢性扁桃腺炎、四十五歳男性、幼少より扁桃腺のための発熱（年に三〜六回）、食欲良好、やや下痢傾向、肩首こり。顔色良好、腹は上下腹直筋緊張、右胸脇苦満、臍傍抵抗圧痛。脈は浮弦数。舌は淡紅色、乾白黃色苔。そこで、荊芥連翹湯十枳実十葛根十大棗十生姜を処方。二年後、扁桃腺炎二年〜二回。四年以後、〇〜一回。六年後の現在も継続中。

次回は、冷え性 ーです。

「院長」



骨 粗 鬆 症

骨量は、成長期のカルシウムや蛋白の摂り方（子供の頃の牛乳）、運動の仕方が影響します（小学校〜高校の時期）。女性の骨量は閉経以後急速に減少、男性は、50歳を過ぎるころから徐々に減少します。当院は、定期的に骨量を測定し、食事指導を取り入れ、漢方薬や西洋薬を処方しています。



鍼

中国で発達した針は「九鍼」と呼ばれ、日本には奈良時代、仏教と共に伝わり江戸時代に急速に普及。特に、毛のように細い毫針が最も頻用され、現在では管針法が普及。痛み、だるさ、こり、麻痺などには、皮内や皮下に針尖が留まり持続的に刺激を加えることのできる皮内針や円皮針が有効。当院では、管針法と円皮針を利用し腰痛、肩こり、関節痛などに応用。



慢性扁桃腺炎

急性扁桃炎を繰り返すと、咽頭不快感、咳嗽、微熱、病巣感染、掌蹠膿疱、鼻閉、いびき、注意散漫、頭痛などの症状が取れないことがあります。膿汁を常に認める場合、手術が必要な場合もありますが、うがいをよくし、過労、心労に注意して下さい。漢方薬を服用することによって体質が改善し、徐々に症状がなくなることが多いようです。





当院の漢方治療



剤型

・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。20～30分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。

漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(300円)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性肺炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。

・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膈分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
3時～3時20分、3時20分～3時40分。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏・のどあめです。

・紫雲膏 太乙膏・アガリクス・メシマコブ
・靈芝・AHCC・サメ軟骨・快步楽・のどアメ(板藍根、ハーブ)

漢方入浴剤

・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針 針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治に適しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ(季節型、新型)、BCG、三種混合(DPT)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、その他

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
 ◇予約-漢方外来 : 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
 ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
 ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
 ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
 ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

1月7日(土)2月4日(土) 13:30～15:30

後期-母親教室

1月14日(土)1月28日(土) 13:30～15:30

母親教室のご案内

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。(申込ノートにお名前の記入をお願いします。母親教室では「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。参加時には「母と子のてびき」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ・ママヨガのご案内

当院では以前よりマタニティヨガを実施し多くの方から支持を得て参りましたが、産後のママさんからのご要望により、ママヨガ(産後ママ)を始めることになりました。慣れない子育て環境で少しでも「ママのリラクゼーション」を目的としています。お一人でもお子様とでも自由に参加して頂き、ママヨガでのママ友と情報を共有してリラックスした楽しい一時をお過ごしください。

日程: 1月11日(水) 1月21日(土) 1月25日(水) 14:00～15:30

マタニティヨガ土曜日開催のお知らせ・・・

これまでマタニティヨガは各週水曜日のみの開催でしたが土曜日を希望される方がとても多く、月に一度の予定でマタニティヨガを行っております。お勤めの方もふるってご参加ください。(各週水曜日も好評開催中)

日程: 1月11日(水) 1月21日(土) 16:00～17:30

多紀元堅 (1795～1857)

医学館総裁多紀を務めた元簡の第5子。考証派の学風は、古典医学書の収集・復元に努めるもので、中国での収集・復元を凌駕するとも言われている。元堅は『傷寒論述義』『金匱要略述義』『素問紹識』『葉治通義』『傷寒広要』『雜病広要』など多くを著述した。幕府医官として、奥詔医師、奥医師、法眼、法印と昇進し、紫真院と称した。門弟には、渋江抽斎、森立之、小島尚真(宝素)らがあり、多くの考証医学者を育てた。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡します。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。
火曜日と木曜日(掲示をご覧ください)

浮田医院ホームページ (<http://www.ukitagr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。
詳細は受付でお聞きください。